

令和 6 年度の主な国際交流・多文化共生推進関連事業について

※ 「京都市国際都市ビジョン」における国際都市像毎に記載

国際都市像 1 世界を魅了し、多種多様な人々が集まるまち

【取組の方向性】

- ① 新たな価値創出につながる京都の魅力の深化
- ② 外国人研究者や技術者、起業家、留学生等にとって魅力ある環境整備
- ③ あらゆる機会を通じた世界の都市「KYOTO」の魅力発信

【令和 6 年度の主な関連事業】

➤ 京都の若者が世界の多彩な才能と交流する仕組みづくり（17,000千円）

大阪・関西万博を契機に、これまで京都芸術センター等が中心となって取り組んできたアーティスト・イン・レジデンスを拡大し、狭義の「アーティスト」にとどまらないクリエイティブな人材を京都に呼び込み、地域とつなげることによって、知的交流を促す仕組みをつくるためのモデル事業を実施する。

➤ 留学生スタディ京都ネットワーク（15,000千円）

大学、日本語学校、専修学校、経済界、京都府とともに、海外から京都の大学等への留学を促進するための組織を設立し、海外や首都圏の日本語学校から留学生を獲得するためのプロモーションや、国内外からの相談・問合せへのワンストップ窓口の開設、さらに留学生の住環境整備や就業支援に関して、オール京都体制で推進していく。

➤ 万博を契機とした海外ビジネス交流促進・ネットワーク構築事業（11,700千円）

大阪・関西万博を契機に、市内企業等のグローバルなビジネス展開や海外からの投資拡大を図るため、海外に向けて、ウェブサイト等で京都市の強みを発信するとともに、海外とコネクションを有する様々な関係機関とのネットワークを構築し、万博会期中にパビリオン出展等を行う海外の企業や政府関係者等を主なターゲットに、インキュベーション施設、大学、市内企業等の現地視察やビジネスイベントなどを組み込んだ、テクニカルツアーを実施する。

国際都市像2 海外都市との連携が強まり、国際社会に貢献するまち

【取組の方向性】

- ① 文化の力を土台とした国際交流・協力による国際社会や世界平和への貢献
- ② 海外都市との相互利益型の都市間交流の推進

【令和6年度の主な関連事業】

➤ 世界歴史都市連盟事業（19,084千円）

令和6年11月12～14日に、スロベニアのリュブリャナ市において、第19回世界歴史都市会議及び2024年度世界歴史都市連盟総会・理事会を開催する。開催都市リュブリャナ市と連盟事務局とで開催に向けた準備を行うとともに、京都市から京都市長をはじめとする代表団を派遣する。

会議では、「持続可能な都市モビリティによる活気ある歩きやすい市街地づくり」をテーマに、基調講演や会員都市による発表、専門家会議等を行い、総会・理事会では、連盟の運営や事業について協議等を行う。

また、連盟事務局では、機関紙の発行や公式ウェブサイトによる情報発信等を行う。

➤ イクレイ東アジア地域理事会への出席（1,063千円）

市長が議長を務めるイクレイ東アジア地域理事会において、世界における地球温暖化対策に関する情報収集を行うとともに、2050年ゼロ達成に向けた京都市の取組について発信する。

➤ 京都・西安友好都市提携50周年記念事業（9,368千円）

西安市との友好都市提携50周年を記念し、両市代表団の相互派遣や文化を中心とした交流を実施することにより、京都・西安両市民間の絆を深化させ、両市の友好関係を維持・発展させていく。

国際都市像3 **さまざまな世代で国際交流や多文化共生の意識が高まり、
国際感覚をもった人が育つまち**

【取組の方向性】

- ① グローバルな視点をもって地域の発展に貢献する担い手の育成
- ② 幅広い年齢層が世界の多様な文化に触れる機会の創出
- ③ 京都市の国際展開を支える職員の育成

【令和6年度の主な関連事業】

➤ 英語教育・国際交流の推進 (39,963千円)

子どもたちが実践的な英語力を身につけることができるよう、小学校で日常的に英語に触れるための取組、中高校生の英検受検料補助、高校での修学旅行等や海外姉妹校との相互交流、GTECの活用に取り組んでいる。

また、文部科学省の留学支援制度であるトビタテ留学JAPAN等への積極的な応募も促す。

さらに、令和6年度から海外での「京都市立高校グローバルリーダー育成研修」を再開し、多様な文化や価値観に触れる経験を通して、グローバル人材としての素地を育む。

➤ 国際交流会館管理運営（指定管理） (178,693千円)

京都の国際交流・多文化共生の拠点として、国際交流団体等との連携事業や、外国籍市民等からの相談に多言語で応じる「京都市外国籍市民総合相談窓口」の運営などを行うことにより、市民が多様な価値観に触れる機会を創出するとともに、外国籍市民等が安心して生活できる環境づくりを進める。

また、ロシアによる軍事侵攻の影響を受け、京都市の姉妹都市であるキーウをはじめウクライナ各都市から避難された方々を温かく受け入れ、支援を行うため、京都市や企業、関係団体等と連携した取組を行っていく。

➤ 留学生や外国籍市民の地域事業への参加促進 (100千円)

災害時などの緊急時に地域住民との間で「近助」が確実に機能するよう、平時から交流する機会を創出する。

国際都市像4 多様性を生かしたまちづくりが進み、市民の生活が豊かになっているまち

【取組の方向性】

- ① 多言語による情報提供・コミュニケーション支援
- ② 外国籍市民等が安心・安全に暮らせる体制整備
- ③ 外国籍市民等による地域・市民活動への参加促進
- ④ 外国籍市民等の地域での就労支援

【令和6年度の主な関連事業】

➤ 区役所庁舎案内表示のデジタル化（18,500千円）

近隣行政機関・民間施設等との複合化が進む全区役所・支所の庁舎において、目的の窓口へのスムーズな御案内による総滞在時間の短縮に向け、庁舎案内のデジタル化を推進。大型タッチディスプレイを区庁舎入口付近に設置し、チャットボット等のサービスを導入することでスムーズな庁舎案内を目指す。

外国語への表示切替えにも対応したシステムを導入予定。

➤ 多文化が息づくまちづくりに向けた日本語指導体制等の充実（24,504千円）

日本語の理解が十分でない外国にルーツをもつ児童生徒等の増加傾向をふまえ、受入時に迅速かつ的確に対応できる新たな体制として、日本語指導担当教員の派遣等の総合的な支援を行うサポート校を設置し、外国にルーツをもつ児童生徒の受け入れを進めている。その体制のもと、巡回指導を担当する教員、母語による学校生活の適応促進や通訳等の主に言語面の支援を行う母語支援員を配置して一層の充実を図る。

➤ 京都市外国籍市民総合相談窓口運営（9,165千円）

在留手続、雇用、医療、福祉、出産・子育て・子供の教育等の生活に係る適切な情報や相談場所に迅速に到達することができるよう、多言語による情報提供及び相談を行う。

また、令和6年度においては、本市ベトナム籍市民の増加に伴い、ベトナム語通訳相談者を新規雇用し、行政通訳相談体制を拡充するとともに、待遇面の課題から人員の確保が困難となっている英語・中国語の既存通訳相談者について、報酬水準を見直し、事業を安定的に運営する体制を確保する。

(令和6年度に実施予定の国際交流・多文化共生関連事業、海外展開等に係る事業)

国際都市像1 世界を魅了し、多種多様な人々が集まるまち

| 局区 | 担当課 | 事業名 | 実施時期 | 概要 | 新規・充実・継続 | R6年度予算額(千円) | その他関連する国際都市像 | 備考 |
|-------|-------------------------|---------------------------|---------------------------------|---|----------|-------------|--------------|----|
| 総合企画局 | 国際交流・共生推進室 | 京都・西安友好都市提携50周年記念事業 | 通年 | 西安市との友好都市提携50周年を記念し、両市代表団の相互派遣や文化を中心とした交流を実施することにより、京都・西安両市民間の絆を深化させ、両市の友好関係を維持・発展させていく。 | 新規 | 9,368 | 2.3 | |
| | | 世界歴史都市連盟事業 | 通年 | 令和6年11月12～14日に、スロベニアのリュブリャナ市において、第19回世界歴史都市会議及び2024年度世界歴史都市連盟総会・理事会を開催する。開催都市リュブリャナ市と連盟事務局とで開催に向けた準備を行うとともに、京都市から京都市長をはじめとする代表団を派遣する。 会議では、「持続可能な都市モビリティによる活気ある歩きやすい市街地づくり」をテーマに、基調講演や会員都市による発表、専門家会議等を行い、総会・理事会では、連盟の運営や事業について協議等を行う。 また、連盟事務局では、機関紙の発行や公式ウェブサイトによる情報発信等を行う。 | 継続 | 19,084 | 2 | |
| | | 京都市国際交流・多文化共生審議会の開催 | 令和6年7～8月及び2～3月(予定) (毎年度2回程度) | 「京都市国際都市ビジョン」(令和3年3月策定)に掲げる本市が目指す国際都市像の実現に向け、国際交流や国際協力、多文化共生等の本市が進める国際的な事業の展開について、有識者や市民公募委員から意見をいただき、本市の国際交流・共生推進に関する施策に反映していく。 | 継続 | 249 | 2.3.4 | |
| | | 国際会議や海外賓客の接遇時等における京都の魅力発信 | 通年 | 世界歴史都市会議をはじめ国内外で開催される国際会議等の場や、各国・都市・企業等の代表者が本市を訪問される際、市長等による都市格向上に向けた京都の魅力発信を積極的にを行う。 | 継続 | — | | |
| | | 医療通訳派遣事業 | 通年 | 医療機関に対して通訳者を派遣することにより、外国籍市民等が安心して医療サービスを受け、安全に暮らすことができるよう、言葉を中心としたサポートを行う。 | 継続 | 3,000 | 4 | |
| | | 地域・多文化交流ネットワーク促進事業 | 通年 | 東九条地域において、これまでの自主的な地域活動や多文化共生に向けた取組の美点を踏まえ、地域住民及び各種団体を主体とした地域交流・多文化交流を深める取組等を実施することにより、京都市域における多文化共生・地域福祉の推進を図る。 | 継続 | 9,900 | 4 | |
| | | 京都市外国籍市民総合相談窓口運営 | 通年 | 在留手続、雇用、医療、福祉、出産・子育て・子供の教育等の生活に係る適切な情報や相談場所に迅速に到達することができるよう、多言語による情報提供及び相談を行う。 また、令和6年度においては、本市ベトナム籍市民の増加に伴い、ベトナム語通訳相談者を新規雇用し、行政通訳相談体制を拡充するとともに、待遇面の課題から人員の確保が困難となっている英語・中国語の既存通訳相談者について、報酬水準を見直し、事業を安定的に運営する体制を確保する。 | 充実 | 9,165 | 4 | |
| | | 災害時多言語電話通訳事業 | 通年 | 災害発生時、避難所の運営主体等が、日本語を話せない外国籍市民等が来られた際に対応できるよう、多言語対応した専用の電話回線により通訳可能な体制を整える。(避難所等の開設期間中、24時間利用可能) | 継続 | 460 | 4 | |
| | 総合政策室 留学生支援・大学連携推進担当 | 留学生スタディ京都ネットワーク | 通年 (平成27年度～) | 大学、日本語学校、専修学校、経済界、京都府とともに、海外から京都の大学等への留学を促進するための組織を設立し、海外や首都圏の日本語学校から留学生を獲得するためのプロモーションや、国内外からの相談・問合せへのワンストップ窓口の開設、さらに留学生の住環境整備や就業支援に関して、オール京都体制で推進していく。 | 継続 | 15,000 | | |
| | | 京都で学ぶ留学生の受入環境支援・体験交流促進事業 | 通年 (平成27年度～) | 入学直後の留学生に行政手続きや生活ルールに係る情報提供等を行うとともに、京都市の文化施設の見学・体験等の機会を提供する。また、京都で学ぶ多様な学生が、京都ならではの文化芸術や伝統産業に少人数でじっくりと体験できる参加体験型プログラムを実施し、末永く京都ファンとして、京都への関心・愛着を持ってもらえるように取り組む。 | 継続 | 3,000 | | |
| | | 学生のプレミアム体験・交流事業 | 通年 | 京都の大学等で学ぶ学生(留学生を含む)を対象に、普段経験できない京都の多様で奥深い魅力を学ぶ「京都ならではの体験」イベントを実施する。 この体験を通じ、学生の京都への愛着・関心をより一層深めるだけでなく、大学等の垣根を越えた学生同士のつながりも強化し、卒業後も京都に定着してもらうなど、末永く京都と縁を持って活躍してもらえる好循環を目指す。 | 充実 | 2,000 | | |
| | 人口戦略室 京都創生担当 | 海外に向けた「京都創生」の展開 | 通年 | 令和5年度の取組みを継続しつつ、情報発信等の取組を通じ、海外の方に本市の現状を理解いただき、観光などの一過性の関係にとどまらない、より深く継続的な関係性を構築していく。 | 継続 | 2,500 | 2 | |
| | | グローバル都市WGの開催 | 通年 | 本市におけるグローバル都市実現に向けた「チャレンジ」や、各局で実施しているグローバルな繋がりを活用・連携・連動させ実施することで、その効果を最大限に発揮し、海外から人・企業・資金等呼び込むことができる都市を目指す。 | 継続 | — | 2 | |

| 局区 | 担当課 | 事業名 | 実施時期 | 概要 | 新規・充実・継続 | R6年度予算額(千円) | その他関連する国際都市像 | 備考 |
|---------------------------|---------|--|-----------------|--|----------|-------------|--------------|---------------------------|
| 文化市民局 | 文化芸術企画課 | 東アジア文化都市交流事業 | 通年 | 創造都市ネットワーク日本 国際ネットワーク部会において、東アジア文化都市の認知度向上に向けて取り組むとともに、今後の国際ネットワーク強化の在り方について検討を進める。また、令和6年度は、ユネスコ創造都市の取組についても都市間での情報提供を行う予定。 | 継続 | — | 2.3 | |
| | | 京都国際舞台芸術祭 (KYOTO EXPERIMENT) | 令和6年9月～10月 | 京都・日本そして世界の舞台芸術を紹介することを目的に、平成22年度から京都市内で開催している舞台芸術祭。世界各地の「EXPERIMENT(エクスペリメント)=実験」的な舞台芸術を創造・発信し、芸術表現と社会を新しい形の対話でつなぐことを目指している。次年度も世界各国からアーティストを招聘する。 | 継続 | 28,000 | 2.3.4 | |
| | | Discover Traditional Culture of KYOTO～京の伝統文化プランディング～ | 通年 | 伝統文化の価値を向上し、本市の魅力を上向きさせるため、伝統文化に対する潜在的ニーズを踏まえ、国内外から京都を訪れる観光客の目線で、ツアーの実施、多言語対応、音声ガイドの整備などを行い、また誘客に関するノウハウを文化関係者に共有することで持続可能な取り組みを目指す。 | 新規 | 10,000 | | |
| | | 京都芸術センター事業 | 通年 | 京都芸術センターは、京都における文化芸術の総合的な振興を目的として設置され、国内外の文化施設や文化芸術団体と連携した事業の実施や、外国の文化機関とのネットワーク強化に取り組む。また、多様な芸術に関する活動を支援し、芸術に関する情報を広く発信するとともに、国際文化交流・人的交流のハブとして、国内外のアーティストの滞在制作支援事業などを実施する。 | 継続 | 127,228 | 2.3.4 | 予算額は、京都芸術センターの運営に係る指定管理料。 |
| | | KYOTOGRAPHIE(京都国際写真祭) | 令和6年4月13日～5月12日 | 京都を舞台とした国際的な写真祭「KYOTOGRAPHIE(京都国際写真祭)」を本市共催により開催(主催:一般社団法人KYOTOGRAPHIE)。京都の歴史的建築物などを会場(市内十数か所)とし、選りすぐりの国内外写真家による展覧会等を実施する。 | 継続 | 0 | 2 | |
| | | 京都文学賞 | 通年 ※令和元年度～ | 京都を題材とする小説を募集・表彰することにより、京都における文学の更なる振興とともに、「文化都市・京都」の発信や京都の歴史と魅力の再認識、都市格の向上につなげる。 一般部門、中高生部門、海外部門の3部門を設け、国内外から作品を募集する。 | 継続 | 6,651 | | |
| | | 京都・文化ファンドレイジング戦略推進事業 | 通年 ※令和3年度～ | 京都の文化芸術を担うアーティスト等の活動を、個人・企業の寄付等を通じて社会全体で支え、持続可能な文化芸術の振興を図るArts Aid KYOTOの取組を継続するとともに、更なる支援の拡大・促進を図るため、高額所得者向けの寄付獲得の取組等を行う。 | 継続 | 184,800 | | |
| | | 京都文学レジデンス | 10月 ※令和4年度～ | 国内外から招致した若手の作家、詩人、翻訳家が、京都に一定期間滞在し創作活動を行う場を提供する。講演会、朗読会等の参加による市長等との交流や、創作活動を通して京都の魅力を発信する。 京都の複数の大学の教授等による実行委員会に本市も参画。 | 継続 | — | | |
| | | 「カルチャープレナー」の創造活動促進事業 | 通年 ※令和5・6年度 | カルチャープレナーの評価軸や社会的インパクトの見える化を図るため、カルチャープレナーの実践事例のリサーチや情報発信、アワード等を開催する。 | 継続 | 15,000 | | |
| 京都の若者が世界の多彩な才能と交流する仕組みづくり | 通年 | 大阪・関西万博を契機に、これまで京都芸術センター等が中心となって取り組んできたアーティスト・イン・レジデンスを拡大し、狭義の「アーティスト」にとどまらないクリエイティブな人材を京都に呼び込み、地域とつなげることによって、知的交流を促す仕組みをつくるためのモデル事業を実施する。 | 新規 | 17,000 | 3.4 | | | |

| 局区 | 担当課 | 事業名 | 実施時期 | 概要 | 新規・充実・継続 | R6年度予算額(千円) | その他関連する国際都市像 | 備考 | |
|-------------------------------------|--------------|-------------------------------|--|---|--|-------------|---------------------|--|--|
| 産業局 | 産業イノベーション推進室 | 中小企業海外展開支援事業 | 通年 | ①中小企業の海外展開支援事業 人口減少、高齢化に伴い、国内市場が縮小している中、中小企業の産業活動を維持・発展させるためには、積極的に海外の需要を取り込んでいくことが必要となっている。そのため、海外に豊富なネットワークを持つシロ京都市、京都市、京都府、京都商工会議所を中心にオール京都体制で設置した「京都海外ビジネスセンター」を軸に、積極的に成長している海外需要を取り込み、京都経済の活性化を図る。 ②貿易振興事業 貿易関連団体と貿易手続等の普及啓発を行うことで、貿易の振興を図る。 | 継続 | 11,700 | | | |
| | | 京都スタートアップ・エコシステム推進プロジェクト | 通年 | オール京都及び京阪間での連携を強化し、京都におけるスタートアップの発掘・育成・支援や国内外への発信に、より一層取り組むことで、社会課題解決に結びつくスタートアップの創出及び集積を促進し、都市の活力が創造され、市民生活の豊かさがもたらされる「スタートアップの都・京都」を目指す。 | 充実 | 75,800 | 2 | 予算額は、プロジェクト全体の予算額であり、全てが海外展開・情報発信等に係るものではない。 | |
| | | グローバル・ニッチ・トップ企業創出プロジェクト | 通年 | 高度な技術力を有し、海外展開に向けた高い経営者マインドを有するもの、従業員のノウハウやネットワーク、資金の不足等の課題により、海外展開の検討・計画の作成や製品開発ができていないベンチャー企業・中小企業を支援することにより、円滑な海外輸出を促進し、京都経済を担う新たなグローバル・ニッチ・トップ企業の創出を図る。 | 継続 | 26,200 | | | |
| | | 万博を契機とした海外ビジネス交流促進・ネットワーク構築事業 | 通年 | 大阪・関西万博を契機に、市内企業等のグローバルなビジネス展開や海外からの投資拡大を図るため、海外に向けて、ウェブサイト等で京都市の強みを発信するとともに、海外とコネクションを有する様々な関係機関とのネットワークを構築し、万博会期中にバリエーション出展等を行う海外の企業や政府関係者等を主なターゲットに、インキュベーション施設、大学、市内企業等の現地視察やビジネスイベントなどを組み込んだ、テクニカルツアーを実施する。 | 新規 | 11,700 | | | |
| | クリエイティブ産業振興室 | 新たな京都ファン開拓事業(京都館プロジェクト) | 通年 | 国内外から大量の人流が見込まれる2025年の「日本国際博覧会(大阪・関西万博)」との連携も視野に入れながら、京都の伝統産業、文化などの魅力を、YouTube、SNS等を活用して国内外に発信し、京都ファンを増やしていくことで、誘客、さらには移住・企業誘致等につなげ、京都への投資を喚起していく。 | 継続 | 14,000 | | | |
| | | 伝統産業未来構築事業 | 通年 | 世界が誇る京都の伝統産業を持続可能な形で未来に継承していくため、引続き他ジャンルのコラボによる新商品開発や販路の開拓・拡大、後継者育成に係る事業、さらには伝統産業品の海外展開に資する取組を支援し、商品力及び販売力の強化につなげていく。 | 継続 | 22,000 | | | |
| | | 次世代クリエイター育成プロジェクト | 通年 | 「京都国際マンガ・アニメ大賞」からリニューアルした「京都国際クリエイターズアワード」のさらなる発展とともに、「クリエイター創作活動支援制度」、「最新デジタル技術の活用による産業振興プロジェクト」の実施も併せた「次世代クリエイター育成プロジェクト」を継続して実施する。 本事業を通じ、国内外の優秀なクリエイターのさらなる獲得・育成を行うことで、クリエイティブ活動により活発になるための場を醸成するとともに、クリエイターの作品発表の場などアウトプットできる環境を積極的に提供し、次世代のクリエイターが豊かに育つ好循環を形成する。 | 継続 | 12,900 | | | |
| | 産業観光局 | 観光MICE推進室 | 持続可能なインバウンド観光促進事業 | 通年 | 外国人観光客が回復するなか、京都観光モラルや観光マナーの周知啓発、インバウンド受入環境の再整備やプロモーションの実施等に取り組み、地域経済の活性化を図るとともに、市民生活と調和した持続可能な観光を推進する。 | 継続 | 40,500 | 2 | |
| | | | サステナブルMICE都市形成事業 | 通年 | 脱炭素や地域貢献等のSDGsに資する活動に対する補助制度を引き続き運用し、SDGsに貢献するMICEの開催・誘致に取り組むとともに、MICE商談会の開催や出展を通して、国際的なMICE誘致ネットワークの構築を図る。 | 継続 | 25,000 | 2 | |
| | | | 京都観光オフィシャルサイトの運営 | 通年 | 京都観光オフィシャルサイトを運用し、国内外の観光客に向けて、魅力的なコンテンツはもとより、京都観光モラル、入浴前からのマナー啓発、観光客の分散化、災害・防災行動情報など、京都観光に資する情報の発信を行う。 | 継続 | 62,200 | 2 | |
| | | | メディア等を通じた国内外向け情報発信等 | 通年 | 海外情報発信・収集拠点(全6箇所)(台北、シドニー、パリ、ロンドン、ロサンゼルス、ニューヨーク)を設置して海外市場に合わせたきめ細やかなプロモーションを実施するほか、映画・ドラマの撮影支援等の国内外のメディア支援を行うことにより、世界における京都のメディア露出の増加に努める。 | 継続 | 35,116 | 2 | |
| | | | 京都文化交流コンベンションビューロー補助金 | 通年 | MICE京都ブランドの一層の磨き上げや競争力強化を図るため、積極的な誘致活動や、誘致・開催を支援する助成金・補助金制度の活用等を通して、MICEの振興に繋げる。 | 継続 | 101,545 | 2 | |
| 京都市認定ガイド制度の運営 | | 通年 | 外国人観光客へのサービスの向上と通訳ガイドの活躍の場を充実させるため、これまでに育成したガイドに対して、必要な知識や技術を学ぶ研修を実施する。また、外国人観光客の本格的な回復や大阪・関西万博等の大型イベントを見据え、新規募集(第7期生)を行う。 | 継続 | 24,950 | 2 | | | |
| 観光立国・日本の拠点都市にふさわしい総合観光案内所運営費 | | 通年 | 京都の玄関口である京都駅構内(京都駅ビル2階)において、「京都総合観光案内所(京なび)」を府市協調により設置し、府内全域の観光・交通案内を多言語(日、英、中、韓の常時対応のほか、スタッフにより、フランス語、スペイン語、ドイツ語、タイ語も対応可能)で実施。 | 継続 | 63,819 | | | | |
| 観光案内DX事業 | | 通年 | パソコンやスマートフォン等で利用可能な「京なびオンライン」サービス(対応言語:日、英、中(簡体、繁体)、韓)において、チャットボットによる質問対応や利用者のニーズに応じた観光プランの提案等による観光案内のほか、「よくある質問」サイト、「観光パンフレット・地図ダウンロード」サイト、「観光快適度マップ」、災害等の緊急情報の発信等を行っている。 | 継続 | 2,100 | | | | |
| 多様なエリアにおける魅力発信事業 | | 令和7年3月～(予定) | これまで実施してきたウェブサイトにおける情報発信や、各エリアの特性に応じた観光コンテンツの作成・PR、民間事業者等によるエリア全体の観光振興に資する実証事業への支援を行うとともに、新たに、既存ウェブサイトの多言語化(英語化)を行い、イベント情報等を発信するなど、外国人観光客への情報発信を強化する。 | 新規 | 41,700 | | 総事業費(41,700千円)の内の一部 | | |
| 市民生活と調和した持続可能な観光促進に向けた海外プロモーション強化事業 | | 第二次編成予算成立後、通年 | 市民生活と調和した持続可能な観光の実現に向けては、観光課題対策等の本市が政策として伝えたい情報をより一層効果的に発信する必要があるため、新たに開設する中国(上海)を含め、海外情報発信・収集拠点等を活用し、海外有力メディアや海外インフルエンサーの発信力を活用した情報発信を通して、海外向け観光プロモーションの強化に取り組んでいく。 | 新規 | 41,800 | 2 | | | |
| 都市計画局 | まち再生・創造推進室 | 海外の行政機関・教育機関からの視察受入、情報発信 | 通年 | 国内外の行政機関、教育機関等からの視察を受け入れ、京都の景観・まちづくりや京町家の保全・継承に関する情報発信を実施。ホームページ等の英語表記の整備。 | 継続 | — | | | |

| 局区 | 担当課 | 事業名 | 実施時期 | 概要 | 新規・ 充実・ 継続 | R6年度 予算額 (千円) | その他関 連する国 際都市像 | 備考 |
|-------|-------------------|---|--|--|------------------|---------------------|----------------------|----|
| 上下水道局 | 水道部施設課 | 施設見学の受入れ | 通年 | 外国人研修生等の受入については、要望内容に応じて検討を加え受入れを行っている。 | 継続 | — | | |
| | 下水道部施設課 | 施設見学の受入れ | 通年 | 外国人研修生等の受入については、要望内容に応じて検討を加え受入れを行っている。 | 継続 | — | | |
| 教育委員会 | 生涯学習部 生涯学習推進担当 | 京都市内博物館ガイドブック「京都ミュージアム探訪」(日本語版及び英語版)の改訂版発行及びweb配信 | 平成31年3月～ | 2019年の国際博物館会議(ICOM)京都大会や東京オリンピック・パラピックの開催を見据え、平成25年に発行した京都市内博物館ガイドブック「京都ミュージアム探訪」(日本語版及び英語版)を、最新の情報へ更新し、より読みやすく、興味を引く内容とし、広く発信するため、平成31年3月に、書籍の改訂版を発行するとともに新たにwebサイトでの配信を開始した。WEBサイトでは施設情報の更新や新規ページの作成など充実を図る。 | 継続 | 161 | | |
| | 生涯学習部 施設運営担当 | 多言語化パンフレット・リーフレット・音声ガイド | パンフレット:通年 リーフレット:令和 3年度～ 音声ガイド:令和3 年度～ | 京都市生涯学習総合センター(京都アスニー)にある古典の日記念 京都市平安京創生館において、来館者向けに作成した常設する平安京復元模型等の解説を掲載した英語・中国語・韓国語の案内パンフレットと、学校教育にも活用できるリーフレットを置き、リーフレットは学校にも配布する予定。また引き続き常設展示の解説英語版案内板を設置するとともに、平安京復元模型の音声ガイドを運用する予定。 | 継続 | — | 4 | |
| | 学校歴史博物館 | 多言語化音声ガイド・パンフレット・リーフレット | 平成29年度～ | 英語・韓国語・中国語・日本語の音声ガイドと英語・韓国語・中国語のパンフレット・リーフレットを平成29年度に作成し、平成30年度から外国人観光客等に使用している。 | 継続 | — | | |
| | 青少年科学センター | 多言語通訳サービス | 通年 (令和元年7月～) | 入館時の改札業務において、外国人来館者に対し、翻訳機による英語・中国語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語等48ヶ国語対応の通訳サービスやタブレット端末による通訳アプリを使用した対応を実施する。 | 継続 | — | | |
| | | 展示品名の多言語表記 | 通年 | 新しい展示品を導入する際には、日本語に加え、英語・中国語・韓国語で展示品名を表示する。 | 継続 | — | | |

(令和6年度に実施予定の国際交流・多文化共生関連事業、海外展開等に係る事業)

国際都市像2 海外都市との連携が強まり、国際社会に貢献するまち

| 局区 | 担当課 | 事業名 | 実施時期 | 概要 | 新規・充実・継続 | R6年度予算額(千円) | その他関連する国際都市像 | 備考 |
|-------------------|-----------------|---|---|--|----------|-------------|--------------|----|
| 総合企画局 | 国際交流・共生推進室 | キーウ市・ウクライナ避難者支援 | 通年 | キーウ市民が軍事侵襲前の平和な生活を取り戻すには、息の長い支援が必要と考えられることから、引き続きキーウ市支援のための寄付金を受け付けるとともに、今後も、その時々に応じた必要な支援を検討していく。また、軍事侵襲以降、キーウ・ウクライナを支援するため、様々な民間団体が音楽コンサートやバレエ公演などを開催しており、こうした支援イベントへの後援を行うなど、民間レベルでの支援を後押ししていく。 本市の避難者に対しても、引き続き、国や関係団体、支援いただける方々と連携し、一人ひとりに寄り添った支援を行うとともに、自立に向けて、日本語学習や就労等の支援を継続していく。 | 継続 | 1,850 | | |
| | | 京都市国際交流・多文化共生審議会の開催 | 令和6年7～8月及び2～3月(予定)(毎年度2回程度) | 「京都市国際都市ビジョン」(令和3年3月策定)に掲げる本市が目指す国際都市像の実現に向け、国際交流や国際協力、多文化共生等の本市が進める国際的な事業の展開について、有識者や市民公募委員から意見をいただき、本市の国際交流・共生推進に関する施策に反映していく。 | 継続 | 249 | 1.3.4 | 再掲 |
| | | ニュー・ブランシュ KYOTO | 令和6年9月28日～令和6年10月26日 | 姉妹都市パリ市発祥の現代アートのイベントを京都市内の複数会場で開催する。 | 継続 | 1,000 | | |
| | | 世界歴史都市連盟事業 | 通年 | 令和6年11月12～14日に、スロベニアのリュブリャナ市において、第19回世界歴史都市会議及び2024年度世界歴史都市連盟総会・理事会を開催する。開催都市リュブリャナ市と連盟事務局とで開催に向けた準備を行うとともに、京都市から京都市長をはじめとする代表団を派遣する。 会議では、「持続可能な都市モビリティによる活気ある歩きやすい市街地づくり」をテーマに、基調講演や会員都市による発表、専門家会議等を行い、総会・理事会では、連盟の運営や事業について協議等を行う。 また、連盟事務局では、機関紙の発行や公式ウェブサイトによる情報発信等を行う。 | 継続 | 19,084 | 1 | 再掲 |
| | | 京都・西安友好都市提携50周年記念事業 | 通年 | 西安市との友好都市提携50周年を記念し、両市代表団の相互派遣や文化を中心とした交流を実施することにより、京都・西安両市民間の絆を深化させ、両市の友好関係を維持・発展させていく。 | 新規 | 9,368 | 1.3 | 再掲 |
| | | 姉妹都市とのマラソンを通じた交流 | マラソン開催時 | 本市の姉妹都市であるケルン市で実施予定のトライアスロン及びマラソンの姉妹都市ランナー枠(エントリーフィー無料)として、参加いただける市民の方を募集し、姉妹都市交流の促進につなげる。 | 継続 | — | | |
| 総合政策室 SDGs推進担当 | 人口戦略室 京都創生担当 | 京都世界水大賞2024 | 令和5年6月～令和6年5月(6月～募集、11月～審査、令和6年5月24日 授賞式) | 京都市、世界水会議(World Water Council: WWC)及び特定非営利活動法人日本水フォーラムが共催し、途上国の水問題解決に向けて優れた活動を続ける草の根団体を顕彰する国際的な賞。概ね3年に1度開催される国際会議「世界水フォーラム」に併せて授与を行う。 | 継続 | — | | |
| | | 海外に向けた「京都創生」の展開 | 通年 | 令和5年度の取組みを継続しつつ、情報発信等の取組を通じ、海外の方に本市の現状を理解いただき、観光などの一過性の関係にとどまらない、より深く継続的な関係性を構築していく。 | 継続 | 2,500 | 1 | 再掲 |
| 環境政策局 | 地球温暖化対策室 | グローバル都市WGの開催 | 通年 | 本市におけるグローバル都市実現に向けた「チャレンジ」や、各局で実施しているグローバルな繋がり活用・連携・連動させ実施することで、その効果を最大限に発揮し、海外から人・企業・資金等呼び込むことができる都市を目指す。 | 継続 | — | 1 | 再掲 |
| | | イクレイ日本事業への参加 | 通年 | 平成8年9月から持続可能な社会の実現に積極的に取り組む自治体及び自治体連合で構成された国際的な連合組織である「イクレイ-持続可能な都市と地域をめざす自治体協議会」に加盟し、国内外の自治体との連携を図っている。イクレイの日本での活動を支援するため、(一社)イクレイ日本に本市職員を1名派遣している。 | 継続 | 2,244 | | |
| | | イクレイ東アジア地域理事会への出席 | 令和6年6月 | 市長が議長を務めるイクレイ東アジア地域理事会において、世界における地球温暖化対策に関する情報収集を行うとともに、2050年ゼロ達成に向けた京都市の取組について発信する。 | 継続 | 1,063 | | |
| | | 世界気候エネルギー首長誓約(「世界首長誓約/日本」)への参画 | 通年 | 平成31年1月、世界最大の気候変動に関する都市間連携組織「世界気候エネルギー首長誓約」に加盟し、国内外の自治体と連携を図っている(市長が日本の地域組織「世界首長誓約/日本」の運営委員会委員)。 | 継続 | — | | |
| | | 脱石炭連盟(PPCA)への参画 | 通年 | 令和3年3月、石炭火力発電からの脱却を目指す「脱石炭連盟」に加盟。日本唯一の加盟都市として、再生可能エネルギーへの転換を加速させるとともに、脱炭素社会に向けた先進的な取組を継続して発信する。 | 継続 | — | | |
| | | 「JICA草の根技術協力事業」を通じたマレーシア・ジョホールバル市への環境教育支援 | 令和3年10月～令和7年1月(3年3ヵ月) | 令和5年2月、ジョホールバル市に開設したマレーシア版エコセンターを拠点とした人材育成プログラムの開発支援等に継続して取り組む。 | 継続 | — | | |

| 局区 | 担当課 | 事業名 | 実施時期 | 概要 | 新規・充実・継続 | R6年度予算額(千円) | その他関連する国際都市像 | 備考 |
|-------|------------------|-------------------------------------|-----------------|--|----------|-------------|--------------|---|
| 文化市民局 | 文化芸術企画課 | 東アジア文化都市交流事業 | 通年 | 創造都市ネットワーク日本 国際ネットワーク部会において、東アジア文化都市の認知度向上に向けて取り組むとともに、今後の国際ネットワーク強化の在り方について検討を進める。また、令和6年度は、ユネスコ創造都市の取組についても都市間での情報提供を行う予定。 | 継続 | — | 1.3 | 再掲 |
| | | 京都国際舞台芸術祭 (KYOTO EXPERIMENT) | 令和6年9月～10月 | 京都・日本そして世界の舞台芸術を紹介することを目的に、平成22年度から京都市内で開催している舞台芸術祭。世界各地の「EXPERIMENT(エクスペリメント)実験」的な舞台芸術を創造・発信し、芸術表現と社会を新しい形の対話でつなぐことを目指している。次年度も世界各国からアーティストを招聘する。 | 継続 | 28,000 | 1.3,4 | 再掲 |
| | | 京都芸術センター事業 | 通年 | 京都芸術センターは、京都における文化芸術の総合的な振興を目的として設置され、国内外の文化施設や文化芸術団体と連携した事業の実施や、外国の文化機関とのネットワーク強化に取り組む。また、多様な芸術に関する活動を支援し、芸術に関する情報を広く発信するとともに、国際文化交流・人的交流のハブとして、国内外のアーティストの滞在制作支援事業などを実施する。 | 継続 | 127,228 | 1.3,4 | ・再掲 予算額は、京都芸術センターの運営に係る指定管理料。 |
| | | KYOTOGRAPHIE(京都国際写真祭) | 令和6年4月13日～5月12日 | 京都を舞台とした国際的な写真展「KYOTOGRAPHIE(京都国際写真祭)」を本市共催により開催(主催:一般社団法人KYOTOGRAPHIE)。京都の歴史的建築物などを会場(市内十数か所)とし、選りすぐりの国内外写真家による展覧会等を実施する。 | 継続 | 0 | 1 | 再掲 |
| | 美術館 | 各種展覧会の開催 | 展覧会により異なる | ○バリ ポンビトゥーセンター キュビズム展ー美の革命 ピカソ、ブラックからドローネー シヤガールへ(令和6年3月20日～7月7日) ○モネ 睡蓮のとき(令和7年3月7日～6月8日) ○Gucci Cosmos(10月1日～12月1日) | 充実 | — | | 共催展であるため本市からの出資はなし。 |
| | 市民スポーツ振興室 | 京都マラソン2025 | 令和7年2月16日 | 国外から広くランナーを募集するとともに、多言語サイトの作成、外国語対応ボランティアの配置、多言語で案内サインを設置し、おこしやす広場をはじめ、大会を通じて京都の文化の発信に取り組む。 | 継続 | 162,000 | | |
| 産業観光局 | 産業イノベーション推進室 | 京都スタートアップ・エコシステム推進プロジェクト | 通年 | オール京都及び京阪神間での連携を強化し、京都におけるスタートアップの発掘・育成・支援や国内外への発信により一層取り組むことで、社会課題解決に取り組むスタートアップの創出及び集積を促進し、都市の活力が創造され、市民生活の豊かさがもたらされる「スタートアップの都・京都」を目指す。 | 充実 | 75,800 | 1 | ・再掲 予算額は、プロジェクト全体の予算額であり、全てが海外展開・情報発信等に係るものではない。 |
| | | 持続可能なインバウンド観光促進事業 | 通年 | 外国人観光客が回復するなか、京都観光モラルや観光マナーの周知啓発、インバウンド受入環境の再整備やプロモーションの実施等に取り組む。地域経済の活性化を図るとともに、市民生活と調和した持続可能な観光を推進する。 | 継続 | 40,500 | 1 | 再掲 |
| | 観光MICE推進室 | サステナブルMICE都市形成事業 | 通年 | 脱炭素や地域貢献等のSDGsに資する活動に対する補助制度を引き続き運用し、SDGsに貢献するMICEの開催・誘致に取り組むとともに、MICE商談会の開催や出展を通じて、国際的なMICE誘致ネットワークの構築を図る。 | 継続 | 25,000 | 1 | 再掲 |
| | | 京都観光オフィシャルサイトの運営 | 通年 | 京都観光オフィシャルサイトを運用し、国内外の観光客に向けて、魅力的なコンテンツはもとより、京都観光モラル、入浴前からのマナー啓発、観光客の分散化、災害・防災行動情報など、京都観光に資する情報の発信を行う。 | 継続 | 62,200 | 1 | 再掲 |
| | | メディア等を通じた国内外向け情報発信等 | 通年 | 海外情報発信・収集拠点(全6箇所)(台北、シドニー、パリ、ロンドン、ロサンゼルス、ニューヨーク)を設置して海外市場に合わせたきめ細やかなプロモーションを実施するほか、映画・ドラマの撮影支援等の国内外のメディア支援を行うことにより、世界における京都のメディア露出の増加に努める。 | 継続 | 35,116 | 1 | 再掲 |
| | | 京都文化交流コンベンションビューロー補助金 | 通年 | MICE京都ブランドの一層の磨き上げや競争力強化を図るため、積極的な誘致活動や、誘致・開催を支援する助成金・補助金制度の活用等を通じて、MICEの振興に繋げる。 | 継続 | 101,545 | 1 | 再掲 |
| | | 京都市認定ガイド制度の運営 | 通年 | 外国人観光客へのサービスの向上と通訳ガイドの活躍の場を充実させるため、これまでに育成したガイドに対して、必要な知識や技術を学ぶ研修を実施する。また、外国人観光客の本格的な回復や大阪・関西万博等の大型イベントを見据え、新規募集(第7期生)を行う。 | 継続 | 24,950 | 1 | 再掲 |
| | | 市民生活と調和した持続可能な観光促進に向けた海外プロモーション強化事業 | 第二次編成予算成立後、通年 | 市民生活と調和した持続可能な観光の実現に向けては、観光課題対策等の本市が政策として伝えたい情報をより一層効果的に発信する必要があるため、新たに開設する中国(上海)を含め、海外情報発信・収集拠点等を活用し、海外有カメディアや海外インフルエンサーの発信力を活用した情報発信を通して、海外向け観光プロモーションの強化に取り組んでいく。 | 新規 | 41,800 | 1 | 再掲 |
| 都市計画局 | まち再生・創造推進室 | ワールド・モニュメント財団との連携による京町家再生プロジェクトの実施 | 通年 | ワールド・モニュメント財団との連携を継続するとともに、京町家の魅力と現代的価値を海外に情報発信することで、海外の諸支援団体とのネットワークの形成を図る。 京町家再生プロジェクトとしてワールド・モニュメント財団から支援を受けた金座町町家、旧村西家住宅、四条町大船鉾会所の活用に取り組みを行うとともに、WMTFとの交流や情報共有を継続する。 | 継続 | 300 | | |
| 教育委員会 | 学校指導課(初等中学校教育担当) | 姉妹都市との交流 | 令和6年9月25日～9月29日 | ○姉妹都市交歓作品展 ・市立幼稚園・学校の園児・児童・生徒の作品及び姉妹都市の子どもの作品約2,600点を一堂に展示する「京都市幼児・児童・生徒作品展及び姉妹都市交歓作品展」を開催。 ・作品展終了後、本市の出品作品のうち約200点を姉妹都市に交歓作品として贈呈。 | 継続 | 793 | 3 | |

(令和6年度に実施予定の国際交流・多文化共生関連事業、海外展開等に係る事業)

国際都市像3 ささまざまな世代で国際交流や多文化共生の意識が高まり、国際感覚をもった人が育つまち

| 局区 | 担当課 | 事業名 | 実施時期 | 概要 | 新規・充実・継続 | R6年度予算額(千円) | その他関連する国際都市像 | 備考 |
|----------|-----------------|-----------------------------|-----------------------------|--|----------|-------------|--------------|---|
| 総合企画局 | 国際交流・共生推進室 | 京都・西安友好都市提携50周年記念事業 | 通年 | 西安市との友好都市提携50周年を記念し、両市代表団の相互派遣や文化を中心とした交流を実施することにより、京都・西安両市民間の絆を深化させ、両市の友好関係を維持・発展させていく。 | 新規 | 9,368 | 1.2 | 再掲 |
| | | 京都市国際交流・多文化共生審議会の開催 | 令和6年7～8月及び2～3月(予定)(毎年度2回程度) | 「京都市国際都市ビジョン」(令和3年3月策定)に掲げる本市が目指す国際都市像の実現に向け、国際交流や国際協力、多文化共生等の本市が進める国際的な事業の展開について、有識者や市民公募委員から意見をいただき、本市の国際交流・共生推進に関する施策に反映していく。 | 継続 | 249 | 1.2,4 | 再掲 |
| | | 国際交流会館管理運営(指定管理) | 通年 | 京都の国際交流・多文化共生の拠点として、国際交流団体等との連携事業や、外国籍市民等からの相談に多言語で応じる「京都市外国籍市民総合相談窓口」の運営などを行うことにより、市民が多様な価値観に触れる機会を創出するとともに、外国籍市民等が安心して生活できる環境づくりを進める。 また、ロシアによる軍事侵襲の影響を受け、京都市の姉妹都市であるキエフをはじめウクライナ各都市から避難された方々を温かく受け入れ、支援を行うため、京都市や企業、関係団体等と連携した取組を行っている。 | 継続 | 178,693 | 4 | 【指定管理者】 公益財団法人京都市国際交流協会 【指定管理期間】 平成18年度～上記団体を指定管理者に選定。 |
| 文化市民局 | 文化芸術企画課 | 東アジア文化都市交流事業 | 通年 | 創造都市ネットワーク日本 国際ネットワーク部会において、東アジア文化都市の認知度向上に向けて取り組むとともに、今後の国際ネットワーク強化の在り方について検討を進める。また、令和6年度は、ユネスコ創造都市の取組についても都市間での情報提供を行う予定。 | 継続 | — | 1.2 | 再掲 |
| | | 京都国際舞台芸術祭(KYOTO EXPERIMENT) | 令和6年9月～10月 | 京都・日本そして世界の舞台芸術を紹介することを目的に、平成22年度から京都市内で開催している舞台芸術祭。 世界各地の「EXPERIMENT(実験)＝実験」的な舞台芸術を創造・発信し、芸術表現と社会を新しい形の対話でつなぐことを目指している。 次年度も世界各国からアーティストを招聘する。 | 継続 | 28,000 | 1.2,4 | 再掲 |
| | | 京都芸術センター事業 | 通年 | 京都芸術センターは、京都における文化芸術の総合的な振興を目的として設置され、国内外の文化施設や文化芸術団体と連携した事業の実施や、外国の文化機関とのネットワーク強化に取り組む。また、多様な芸術に関する活動を支援し、芸術に関する情報を広く発信するとともに、国際文化交流・人的交流のハブとして、国内外のアーティストの滞在制作支援事業などを実施する。 | 継続 | 127,228 | 1.2,4 | ・再掲 予算の額は、京都芸術センターの運営に係る指定管理料。 |
| | | 文化芸術による共生社会実現に向けた基盤づくり事業 | 通年 | 文化芸術により社会課題や困難の緩和につなげ、共生社会(誰もが相互に人格と個性を尊重し、支え合い、人々の多様な在り方を認め合える社会)を実現するための基盤をつくる。芸術家等が社会課題へアプローチする際や、福祉施設等が文化芸術の取組に着手しようとする際の相談に対応する「Social Work / Art Conference(SW/AC)」の実施や、崇仁・東九条地域における文化芸術活動の支援などにより、社会課題や困難の緩和につなげ、文化芸術による共生社会の実現に向けた基盤づくりに取り組む。 また、これらの取組を継続しながら、令和6年度は芸術家や文化芸術関係者、地域住民や市民をつなげる拠点であるHAPS HOUSEにおいて学生や若手芸術家の展覧会やイベントを行う。また、本事業をはじめとするHAPS事業の発信を強化するなど、HAPS HOUSEの拠点機能の充実を図る。 | 充実 | 18,050 | | |
| | | 京都の若者が世界の多彩な才能と交流する仕組みづくり | 通年 | 大阪・関西万博を契機に、これまで京都芸術センター等が中心となって取り組んできたアーティスト・イン・レジデンスを拡大し、狭義の「アーティスト」にとどまらないクリエイティブな人材を京都に呼び込み、地域とつなげることによって、知的交流を促す仕組みをつくるためのモデル事業を実施する。 | 新規 | 17,000 | 1.4 | 再掲 |
| 上京区 | 地域力推進室まちづくり推進担当 | 留学生や外国籍市民の地域事業への参加促進 | 令和6年10月27日 | 災害時などの緊急時に地域住民との間で「近助」が確実に機能するよう、平時から交流する機会を創出する。 | 新規 | 100 | | |
| 人事委員会事務局 | — | 京都市職員採用試験(青年海外協力隊等活動経験者) | 令和6年11月 | 引き続き経験者試験に統合し実施する。(経験要件に、海外協力隊等における活動経験(2年以上)を含むこととする) | 継続 | — | | |
| 上下水道局 | 経営戦略室 | JICA課題別研修「下水道施設技術総合」の受入れ | 令和6年11月 | JICA課題別研修「下水道施設技術総合(水道基本計画設計A)」を、日本水道協会主催により実施する。 京都市では、京都市水道の概要・歴史、水道事業の広報や管路管理に関する講義や、蹴上浄水場及び水質管理センターの視察を担当する。 | 継続 | — | | |
| | | JICA課題別研修「都市下水道維持管理」の受入れ | 令和6年6～7月 | JICA課題別研修「都市下水道維持管理(浄水・水質A)」を、大阪府水道局との共同により、約1か月間実施する。京都市では、浄水場施設の視察等を受け入れる。 | 継続 | — | | |

| 局区 | 担当課 | 事業名 | 実施時期 | 概要 | 新規・充実・継続 | R6年度 予算額 (千円) | その他関 連する国 際都市像 | 備考 |
|-------|-------------------------------|-------------------------------------|---------------------|---|----------|---|----------------------|----|
| 教育委員会 | 学校指導課 (初等中学校教育担 当、高校担当) | 英語教育・国際交流の推進 | 通年 | 子どもたちが実践的な英語力を身につけることができるよう、小学校で日常的に英語に触れるための取組、中高校生の英検受験料補助、高校での修学旅行等や海外姉妹校との相互交流、GTECの活用に取り組んでいる。 また、文部科学省の留学支援制度であるトビタテ留学JAPAN等への積極的な応募も促す。 さらに、令和6年度から海外での「京都市立高校グローバルリーダー育成研修」を再開し、多様な文化や価値観に触れる経験を通して、グローバル人材としての素地を育む。 | 継続 | 39,963 | | |
| | 学校指導課 (初等中学校教育担 当) | 外国語指導助手(ALT)の活用促進と教員の実践的英語力の養成 | 通年 | 小学校外国語活動の早期化・教科化に伴う授業時数増や中・高等学校での授業改善による高度な実践的英語力の育成(英語4技能の総合的な育成など)に向け、ALT(外国語指導助手)の計画的な配置や教職員研修の充実等により、指導力の向上を図る。 | 継続 | ALT 13,928千 円(事務 局費) 298,923 千円 (人件費) | | |
| | | 姉妹都市との交流 | 令和6年9月25日 ～9月29日 | ○姉妹都市交歓作品展 ・市立幼稚園・学校の園児・児童・生徒の作品及び姉妹都市の子どもたちの作品約2,600点を一堂に展示する「京都市幼児・児童・生徒作品展及び姉妹都市交歓作品展」を開催。 ・作品展終了後、本市の出品作品のうち約200点を姉妹都市に交歓作品として贈呈。 | 継続 | 793 | 2 | 再掲 |
| | 体育健康教育室 | 諸外国の食文化の体験 | 通年 | 諸外国の料理や様々な調理方法による献立を提供することで、食に対する理解を深めていく取組を進める。 | 継続 | — | | |
| | 生涯学習部 施設運営担当 | 京都市図書館での英語多読図書等の貸出、 外国語絵本の読み聞かせ等 | 通年 | 京都市図書館では、児童書をはじめとした英語等の外国語の図書等を所蔵し、貸出を行っている。各図書館では英語等の絵本の読み聞かせを中心とした行事を子ども達やその保護者等を対象に開催する予定。 | 継続 | — | | |

(令和6年度に実施予定の国際交流・多文化共生関連事業、海外展開等に係る事業)

国際都市像4 多様性を生かしたまちづくりが進み、市民の生活が豊かになっているまち

| 局区 | 担当課 | 事業名 | 実施時期 | 概要 | 新規・充実・継続 | R6年度予算額(千円) | その他関連する国際都市像 | 備考 |
|---------|------------|---------------------------------------|----------------------------------|---|----------|-------------|--------------|--|
| 総合企画局 | 国際交流・共生推進室 | 京都市国際交流・多文化共生審議会の開催 | 令和6年7～9月及び12～3月(予定) (毎年度2回程度) | 「京都市国際都市ビジョン」(令和3年3月策定)に掲げる本市が目指す国際都市像の実現に向け、国際交流や国際協力、多文化共生等の本市が進める国際的な事業の展開について、有識者や市民公募委員から意見をいただき、本市の国際交流・共生推進に関する施策に反映していく。 | 継続 | 249 | 1,2,3 | 再掲 |
| | | 医療通訳派遣事業 | 通年 | 医療機関に対して通訳者を派遣することにより、外国籍市民等が安心して医療サービスを受け、安全に暮らすことができるよう、言葉を中心としたサポートを行う。 | 継続 | 3,000 | 1 | 再掲 |
| | | 地域・多文化交流ネットワーク促進事業 | 通年 | 東九条地域において、これまでの自主的な地域活動や多文化共生に向けた取組の実績を踏まえ、地域住民及び各種団体を主体とした地域交流・多文化交流を深める取組等を実施することにより、京都市域における多文化共生・地域福祉の推進を図る。 | 継続 | 9,900 | 1 | 再掲 |
| | | 京都市外国籍市民総合相談窓口運営 | 通年 | 在留手続、雇用、医療、福祉、出産・子育て・子供の教育等の生活に係る適切な情報や相談場所に迅速に到達することができるよう、多言語による情報提供及び相談を行う。 また、令和6年度においては、本市ベトナム籍市民の増加に伴い、ベトナム語通訳相談者を新規雇用し、行政通訳相談体制を拡充するとともに、待遇面の課題から人員の確保が困難となっている英語・中国語の既存通訳相談者について、報酬水準を見直し、事業を安定的に運営する体制を確保する。 | 充実 | 9,165 | 1 | 再掲 |
| | | 災害時多言語電話通訳事業 | 通年 | 災害発生時、避難所の運営主体等が、日本語を話せない外国籍市民等が来られた際に対応できるよう、多言語対応した専用の電話回線により通訳可能な体制を整える。(避難所等の開設期間中、24時間利用可能) | 継続 | 460 | 1 | 再掲 |
| | | 国際交流会館管理運営(指定管理) | 通年 | 京都の国際交流・多文化共生の拠点として、国際交流団体等との連携事業や、外国籍市民等からの相談に多言語で応じる「京都市外国籍市民総合相談窓口」の運営などを行うことにより、市民が多様な価値観に触れる機会を創出するとともに、外国籍市民等が安心して生活できる環境づくりを進める。 また、ロシアによる軍事侵襲の影響を受け、京都市の姉妹都市であるキエフをはじめウクライナ各都市から避難された方々を温かく受け入れ、支援を行うため、京都市や企業、関係団体等と連携した取組を行っている。 | 継続 | 178,693 | 3 | ・再掲 【指定管理者】 公益財団法人京都市国際交流協会 【指定管理期間】 平成18年度～上記団体を指定管理者に選定。 |
| | | 京都市におけるkokoka日本語教育推進事業 | 通年 | 京都市国際交流会館の指定管理者である、京都市国際交流協会が文化庁の補助金を受け、オンライン学習や日本語学習支援者をはじめとする担い手育成などを実施しており、本市も協会や関係機関と連携し、京都市域における日本語教育を推進する。 | 継続 | — | | |
| 行財政局 | 防災危機管理室 | 京都市防災ポータルサイト多言語発信 | 通年 (令和3年度～) | 京都市防災ポータルサイトを多言語での自動翻訳機能で運用していく予定。 | 継続 | 5,254 | | システム全体の保守費用(多言語部分のみ算出できない) |
| 地域自治推進室 | | テレビ電話型翻訳タブレットを活用した区役所・支所における窓口サービスの充実 | 通年(令和2年5月1日～) | 本市で暮らす外国籍市民の方が、転入・転出、医療、子育てに係る各種手続きや市民生活相談で、区役所・支所を訪れた際に、窓口で多言語での対応ができるよう、各区役所・支所に、テレビ電話型翻訳タブレット端末を配備する。 ※対応言語:16言語(英語、韓国語、朝鮮語、ポルトガル語、ベトナム語、ネパール語、フィリピン語、インドネシア語、スペイン語、ヒンディー語、タイ語、フランス語、ロシア語、中国語、クメール語、ミャンマー語、ウクライナ語) | 継続 | 1,200 | | |
| | | 字幕表示システムの導入 | 通年 (令和6年3月26日～) | 高齢者、聴覚障害のある方及び外国籍の方等とのコミュニケーションの円滑化に向け、話した言葉がスクリーンに表示される字幕表示システム「Copotap(コポタップ)」を、全区役所・支所に導入。 日本語からの翻訳表示にも対応し、英語、中国語(簡体)、中国語(繁体)、韓国語、ベトナム語、ポルトガル語を含む、134言語から選択可。 | 継続 | 5,000 | | |
| | | 区役所庁舎案内表示のデジタル化 | 令和6年10月15日～ | 近隣行政機関・民間施設等との複合化が進む全区役所・支所の庁舎において、目的の窓口へのスムーズな御案内による総滞在時間の短縮に向け、庁舎案内のデジタル化を推進。大型タッチディスプレイを区庁舎入口付近に設置し、チャットボット等のサービスを導入することでスムーズな庁舎案内を目指す。 外国語への表示切替えにも対応したシステムを導入予定。 | 新規 | 18,500 | | |
| 文化市民局 | 美術館 | 展示の多言語表記 | 通年 | 当館の常設展であるコレクションルームでの展示作品について、英語・中国語・韓国語表記でのキャプションや作品リストを作成。 | 継続 | 2,760 | | |
| | | 多言語版音声ガイド | 通年 | コレクションルーム出品作品について、英語での解説音声ガイドを作成し、運用。 | 継続 | 3,300 | | |
| | | 多言語版パンフレット | 通年 | 館内案内パンフレットを英語語・中国語・韓国語表記で作成・配架。 | 継続 | — | | リニューアル当初に作成したものを配架しているため、R5年度予算額は0。 |
| 文化芸術企画課 | | 京都国際舞台芸術祭(KYOTO EXPERIMENT) | 令和6年9月～10月 | 京都・日本そして世界の舞台芸術を紹介することを目的に、平成22年度から京都市内で開催している舞台芸術祭。 世界各地の「EXPERIMENT(エクスペリメント)実験」的な舞台芸術を創造・発信し、芸術表現と社会を新しい形の対話でつなぐことを目指している。 次年度も世界各国からアーティストを招聘する。 | 継続 | 28,000 | 1,2,3 | 再掲 |
| | | 京都芸術センター事業 | 通年 | 京都芸術センターは、京都における文化芸術の総合的な振興を目的として設置され、国内外の文化施設や文化芸術団体と連携した事業の実施や、外国の文化機関とのネットワーク強化に取り組む。また、多様な芸術に関する活動を支援し、芸術に関する情報を広く発信するとともに、国際文化交流・人的交流のハブとして、国内外のアーティストの滞在制作支援事業などを実施する。 | 継続 | 127,228 | 1,2,3 | ・再掲 予算の額は、京都芸術センターの運営に係る指定管理料 |
| | | 京都の若者が世界の多彩な才能と交流する仕組みづくり | 通年 | 大阪・関西万博を契機に、これまで京都芸術センター等が中心となって取り組んできたアーティスト・イン・レジデンスを拡大し、狭義の「アーティスト」にとどまらないクリエイティブな人材を京都に呼び込み、地域とつなげることによって、知的交流を促す仕組みをつくるためのモデル事業を実施する。 | 新規 | 17,000 | 1,3 | 再掲 |

| 局区 | 担当課 | 事業名 | 実施時期 | 概要 | 新規・充実・継続 | R6年度予算額(千円) | その他関連する国際都市像 | 備考 |
|-------------|--------------|--|------------|--|----------|-------------|--------------|----|
| 保健福祉局 | 介護ケア推進課 | 高齢者外国籍市民福祉給付金 | 通年 | 昭和61年4月1日の基礎年金制度発足時に既に60歳に到達していたことにより、国民年金を受給していない在日外国籍市民(帰化した者を含む。)(に対して、国が制度化を図るまでの過渡的な施策として、福祉給付金を支給する。 | 継続 | 2,040 | | |
| | | 高齢・障害外国籍市民福祉サービス利用サポート助成 | 通年 | 日常生活における不安や悩みの解消を図るため、外国籍市民等を対象とした訪問・支援活動等により、福祉サービスの利用支援等を行う京都外国人高齢者・障害者生活支援ネットワーク・モアに対して助成金を交付する。 | 継続 | 1,120 | | |
| | | 外国人介護人材受入支援事業 | 12月～2月(予定) | 外国人介護人材が市内の介護現場において円滑に就労・定着できるよう、介護技能向上のための集合研修の実施に対する支援を行う。 | 継続 | 1,625 | | |
| 子ども若者はぐくみ局 | 育成推進課 | 外国籍市民等を対象とした日本語教室の開講 | 通年 | 伏見青少年活動センターにおいて、青少年ボランティアによる日本語を母語としない人々を対象とした「にほんご教室」を開講(平成14年度～) | 継続 | | 指定管理料の一部で実施 | |
| 消防局 | 警防部救急課 | 日本語を介してのコミュニケーションが困難な方に対する救急現場対応ツールの活用 | 通年 | ・救急現場で使用頻度が高い会話内容を定型文登録している多言語音声翻訳アプリ「救急ボイス」を活用 ・外国人傷病者等からの問診及び情報収集をより円滑にするため、8箇国語の多言語シート(英語、中国語[簡体字]、韓国・朝鮮語、スペイン語、フランス語、イタリア語、ドイツ語、中国語[繁体字])を活用 | 継続 | — | | |
| | 警防部情報指令課 | 多言語通訳体制の確保 | 通年 | 日本語を介してのコミュニケーションが困難な方に対し、119番通報時や災害現場活動時において5箇国語通訳サービス(英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語、ポルトガル語)を継続して実施予定 | 継続 | 924 | | |
| | 予防部予防課 | 外国籍市民等に対する防災啓発の推進 | 通年 | 外国籍市民等の防火防災啓発のため、多言語リーフレット(日本語・英語・中国語・韓国語の4か国語)を作成し、各区役所、消防署、国際交流会館等を通じて外国籍市民等に配布。 | 継続 | 130 | | |
| 企画総務部 企画調査課 | 企画総務部 営業推進課 | 多言語対応のスマートフォン・タブレット用HPの運用 | 通年 | 4か国語(日・英・中・韓)対応のスマートフォン・タブレット用HP「京都市バス・地下鉄ガイド」の運用 | 継続 | 511 | | |
| | | 「地下鉄・バスなび」の制作 | 通年 | 外国人観光客向けに、主な観光地へのアクセス早見表や地下鉄・市バスの乗り方などを掲載した市バス・地下鉄の路線図を3か国語(英語、中国語(簡体字)、韓国語)で制作 | 継続 | 8,520 | | |
| | | 多言語電話通訳サービス | 通年 | 外国人観光客との意思疎通をスムーズにし、的確に案内ができるよう、京都市観光協会・公益財団法人京都文化交流コンベンションヒーローが実施している電話による外国語通訳及び翻訳サービスを案内所・定期券発売所において提供 | 継続 | — | | |
| | | コミュニケーションボード及びタブレット端末の配備 | 通年 | 交通案内や忘れ物などの問合せに対し案内文とイラストを記載した、日・英・中・韓対応の「コミュニケーションボード」を案内所に配備 観光案内、周辺施設や運行状況の案内等、外国人観光客へのわかりやすいご案内ができるようタブレット端末を案内所及び一部定期券発売所に配備 | 継続 | 559 | | |
| 交通局 | 自動車部運輸課 | 外国語等による情報提供の充実 | 通年 | ・次の停留所名を案内する「次は(停留所名)表示」及び次の停留所に停車することを案内する「つぎ止まります」の表示を4か国語(日・英・中・韓)とする。 ・令和6年6月1日からは、観光特急バスにおける車内案内モニター及び車内放送案内の4か国語(日・英・中・韓)対応を実施 | 継続 | — | | |
| | | 災害時等における外国語等による情報提供 | 通年 | 災害時、緊急時等にバス車内で掲示する運行情報等の案内文を、4か国語(日・英・中・韓)表記 | 継続 | — | | |
| | | 外国語のコミュニケーションボードの用意 | 通年 | 市バスの運賃や支払方法といった御利用方法などの基本的案内文とイラストを記載した、日・英・中・韓対応の「コミュニケーションボード」を作成し、市バス車両に配備 | 継続 | 378 | | |
| 高速鉄道部運輸課 | 高速鉄道部 高速度車両課 | 外国語等による情報提供の充実 | 通年 | ・外国人旅客とより円滑にコミュニケーションを図るため、全駅に「自動翻訳付きタブレット」を配備。さらに、多言語対応小型通訳機をお客様の御利用の多い5駅に追加で配備 ・JIS規格に対応したピクトグラムによる駅構内の案内表示を掲出するとともに、駅ナンバリング表示を導入し、外国人の方にも分かりやすい表示を実施 | 継続 | 3,140 | | |
| | | 災害時等における外国語等による情報提供 | 通年 | ・災害時等における運行情報を外国人旅客の方にも分かるよう、多言語(日・英・中・韓)での案内文を駅構内に掲示 ・車内に交通局ホームページへ誘導する二次元コードを貼付し、運行情報を提供 | 継続 | — | | |
| 高速鉄道部 電気課 | 高速鉄道部 電気課 | 外国語等による情報提供の充実 | 通年 | 地下鉄車両の案内表示装置及び行先表示装置の4か国語対応(日・英・中・韓) 令和元年度 : 烏丸線完了(新型車両へ更新予定の9編成を除く) 令和2年度 : 東西線完了 令和3～5年度 : 烏丸線新型車両5編成の更新完了 令和6年度 : 烏丸線新型車両2編成の更新 | 継続 | 78,884 | | |
| | | 外国語等による情報提供の充実 | 通年 | 地下鉄烏丸線全15駅のホームに設置されている列車案内表示器を4か国語(日・英・中・韓)表示が可能な機器に更新(令和5年12月完了)。改札口付近にも4か国語(日・英・中・韓)表示が可能な列車案内表示器を設置(竹田駅を除く)。 | 継続 | — | | |

| 局区 | 担当課 | 事業名 | 実施時期 | 概要 | 新規・ 充実・ 継続 | R6年度 予算額 (千円) | その他関 連する国 際都市像 | 備考 |
|-------|--|-----------------------------|-----------------|---|------------------|---------------------|----------------------|----|
| 上下水道局 | 総務部 お客さまサービス推進室 | 外国語のコミュニケーションボードの用意 | 通年 | 各営業所・お客さま窓口サービスコーナーにおいて、外国から京都市内に転居されたお客さまの来所目的等を確認するために、外国語のコミュニケーションボード(英語、韓国語、中国語)を用意する。 | 継続 | — | | |
| | | 各種申込用紙に係る英語版記入例の用意 | 通年 | 各営業所・お客さま窓口サービスコーナーにおいて、外国人のお客さまとの対応方法を充実するため、英語版の記入例を用意する。 | 継続 | — | | |
| | | 多言語電話通訳サービス | 未定 | 各営業所・お客さま窓口サービスコーナーにおいて、外国人のお客さまからの電話に対し、お客さま、職員、通訳者(英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、スペイン語等)の3者が同時に会話を行う。また、窓口に来庁されたお客さまには、電話機のスピーカー機能等を活用して通訳者を交えた対応を行う。 | 継続 | 200 | | |
| | 水道部疏水事務所 水道部蹴上浄水場 水道部松ヶ崎浄水場 水道部新山科浄水場 | パンフレット等の外国語対応 | 通年 | 上下水道局が発行・印刷する外国語対応のパンフレット作製の実施 【パンフレット等】 ・琵琶湖疏水:英語 ・京の水道 蹴上浄水場:英語 ・京の水道 松ヶ崎浄水場:英語 ・京の水道 新山科浄水場:英語 | 継続 | — | | |
| | 下水道部鳥羽水環境 保全センター及び同吉 祥院支所 | パンフレット等の外国語対応 | 通年 | 上下水道局が発行・印刷するパンフレット等について、外国語対応を行っている。 【パンフレット等】 ・鳥羽水環境保全センター概要:英語 ・鳥羽水環境保全センター吉祥院支所:英語 | 継続 | — | | |
| 教育委員会 | 学校指導課 (人権教育担当) | 留学生による母語支援活動 | 通年 (平成27年度～) | 市立小・中学校において、来日間もない帰国・外国人児童生徒等の母語支援活動に留学生の参加を進めることで、留学生を受け入れ、留学生の活躍の場を広げるとともに、当該児童生徒が安心して日本の学校生活に適應していけるような学習環境の充実を図る。 | 継続 | 1,332 | | |
| | | 多文化が息づくまちづくりに向けた日本語指導体制等の充実 | 継続 | 日本語の理解が十分でない外国にルーツをもつ児童生徒等の増加傾向をふまえ、受入時に迅速かつ的確に対応できる新たな体制として、日本語指導担当教員の派遣等の総合的な支援を行うサポート校を設置し、外国にルーツをもつ児童生徒の受け入れを進めている。その体制のもと、巡回指導を担当する教員、母語による学校生活の適應促進や通訳等の主に言語面の支援を行う母語支援員を配置して一層の充実を図る。 | 継続 | 24,504 | | |
| | | 教育や子育てに関する情報の多言語化の推進 | 継続 | 日本語を母語としない就学前の子どもの保護者に対し、小学校生活についての必要な情報等を確実に伝えるために、必要事項を多言語で記載したリーフレットを配布する。 また、令和2年度からは、日本語を母語としない保護者に対して、多言語による「小学校生活 親子オリエンテーション」を新たに実施し、日本の小学校生活や入学準備等について、小学校生活スタートガイドに加えて写真や実物を直接示す等、より効果的な手法で説明を行うと共に、家庭での母語保持の大切さについて伝える。 | 継続 | 760 | | |
| | 青少年科学センター | プラネタリウムの解説の英語訳チラシの作成・配布 | 通年 (令和3年3月～) | 日本語の理解が十分でない外国人来館者に対して、番組概要の理解の一助とするために、じっくり満喫プラネタリウムの番組概要について日英併記で解説したチラシを作成し、必要な方に配布することで、幅広い来館者のさらなる満足度向上を図る。 | 継続 | — | | |